

日本と世界のビール業界の動向



その1 「世界マーケット」編

…再編ドミノ、国際的な規模追求

全9ページ 資料作成:2012年7月 (ed.2.1)

Introduction & Acknowledgement

ビール産業に関しては、国内外のM&A、国内市場の動向、大手4社の経営戦略、新製品の発売等々、日々多くの新聞報道や業界情報がありますが、個別に見ていても全体像が分かりずらく、情報を整理したい、業界の実情や歴史、世界情勢などについてまとめておきたい、とあって本資料を作成したものです。

当社は日本の大手ビール各社、多くの地ビール醸造所の皆様とお取引引きいただいています。この資料を作成したのは、皆様にお取引引きいただいているが故で、改めてビールのお取引各社に感謝の意を表します。

公開された情報を基本に作成していますが、誤謬もあるかもしれません。ご指摘いただければ幸いです。
(2012年4月20日JBA総会での発表をベースに作成したもの text: 喜多常夫)

世界のビールTOP10の1～4: 国際的な規模追求と合従連衡

*「順位」と「2010年の概略生産量」は、英国のリサーチ会社Plato Logic Limited による推定概数 ■どこまでの傘下企業の生産量を含めているかはPlato Logic の基準による ■「主なM&Aの状況」は、この1年ほどの日経新聞の記事、WANDS誌2011年6月号、wikipedia、その他を総合して作成

順位*	社名	主な所在地	2010年概略生産量*	主なM&Aの状況
1位	アンホイザーブ シュ・インベブ AB InBev	ベルギー とアメリカ	3,500万KL	<ul style="list-style-type: none"> ●1987年にベルギーのアルトワとPiedboeufが合併しインターブリュー (Interbrew) 誕生 ●2004年にインターブリューがブラジルのAmBevを92億ユーロで買収してインベブ (InBev) に ●2008年にインベブがABを520億ドルで買収してAB InBev誕生
2位	サブ・ミラー SAB Miller	南アとアメリカ (本社所在地は英国)	2,500万KL	<ul style="list-style-type: none"> ●2002年に南アのサウス・アフリカ・ブリュワリーズが当時アメリカ2位だったミラーを買収 ●2004年に中国で華潤と合併(49%出資)で「China Resources Snow、雪花」設立 雪花は現在中国トップシェア(約20%) ●2011年にオーストラリア1位のフォスターを取得 ●ピルスナーウルケルや、グロールシュも保有する
3位	ハイネケン Heineken	オランダ	2,000万KL	<ul style="list-style-type: none"> ●2008年、ハイネケンとカールスバーグの企業連合で英スコティッシュ&ニューカッスル(S&N)を78億ポンドで買収→ハイネケンが英国、米国などの事業を継承 ●2010年、メキシコの飲料大手FEMSAのビール事業を株式交換で買収 ●2011年、ナイジェリア(アフリカで南アに次ぐ市場規模)でビール・メーカー5社の経営権獲得
4位	カールスバーグ Carlsberg	デンマーク	1,200万KL	<ul style="list-style-type: none"> ●2008年、ハイネケンとカールスバーグの企業連合で英S&Nを買収→カールスバーグはS&Nのロシア、中国、ベトナムなどの事業を取得 ●中国で多数のローカルビールメーカーを所有しカールスバーグ(「嘉士伯」)の生産・販売を行うほか、アジア各国への輸出
5位	青島ビール Tsingtao	中国	600万+KL	
6位	モルソン・クアーズ Molson Coors	カナダ とアメリカ	500万+KL	
7位	グルポ・モデロ Modelo	メキシコ	500万KL	
8位	燕京ビール Beijing Yanjing	中国	500万KL	
9位	キリンビール Kirin	日本	300万+KL	
10位	アサヒビール Asahi	日本	300万KL	

この10年で世界のビール産業の勢力図は激変。

上位4社(青文字)は「1,000万KL超クラブ」
この4社で世界シェア50%

ピンク文字が日本。キリンが9位、アサヒが10位。ともに日本の生産量は200万KL程度だが、300万KLとなっている。どこまでの傘下企業の生産量を含めているかはPlato Logic の基準による。

世界のビールTOP10の5～10: 国際的な規模追求と合従連衡

*「順位」と「2010年の概略生産量」は、英国のリサーチ会社Plato Logic Limited による推定概数 ■どこまでの傘下企業の生産量を含めているかはPlato Logic の基準による ■「主なM&Aの状況」は、この1年ほどの日経新聞の記事、WANDS誌2011年6月号、wikipedia、その他を総合して作成

順位*	社名	主な所在地	2010年概略生産量*	主なM&Aの状況
1位	アンホイザーブ シュ・インベブ AB InBev	ベルギー とアメリカ	3,500万KL	
2位	サブ・ミラー SAB Miller	南アとアメリカ (本社所在地は英国)	2,500万KL	
3位	ハイネケン Heineken	オランダ	2,000万KL	
4位	カールスバーグ Carlsberg	デンマーク	1,200万KL	
5位	青島ビール Tsingtao	中国	600万+KL	(1903年創業、上海証券取引所と香港証券取引所に上場)
6位	モルソン・クアーズ Molson Coors	カナダ とアメリカ	500万+KL	●2005年に(SAB Miller 誕生の玉突き現象で?)両者が合併 ●2012年、チェコ、ハンガリーなど東欧9カ国で展開する大手、スターベブを26.5億ユーロで買収すると発表。
7位	グルポ・モデロ Modelo	メキシコ	500万KL	●AB InBev が株の50%を保有(ただし、non-controlling stake—非支配株主持分)、また役員19人のうち9人を占める。が、業界では完全なAB InBev 傘下とはみなしていない。
8位	燕京ビール Beijing Yanjing	中国	500万KL	(1980年創業、上海証券取引所と香港証券取引所に上場)
9位	キリンビール Kirin	日本	300万+KL	●2009年、オーストラリア2位のライオンネイサンを完全買収 ●2009年、フィリピンのサンミゲルブルワリー、48%を取得 ●2011年、ブラジル2位のスキンカリオールを完全買収
10位	アサヒビール Asahi	日本	300万KL	●2009年、AB InBevから、青島ビールの株の約20%を600億円で取得

●5～10位は600～300万KLの会社。1～4位と規模の差が大きすぎる！キリンやアサヒは1位のAB InBevの1/10以下。
●Plato Logic は2011年のランキングも発表していて、それによれば:1～5位は2010年と変わらず、6位:燕京、7位:モデロ、8位:モルソン・クアーズ、9位:キリン、10位:Efes(エフェスはトルコのビール)

●「非支配株主持分」だったが、「2012年6月29日、AB InBev はグルポ・モデロを完全にお買収することで合意」と発表。
●統合後は、3,500万KL+500万KL=4,000万KL!となる。

世界のビールTOP10 @2009-2010-2011年

* 前ページのPlato Logicのランキング順に、自社発表による生産量(各社のannual reportによる実績値、WANDS誌2012年4月号、web情報などによる)を、3年分入れたもの ** 日本の4社は日本国内の生産量のみを記載(ビール+発泡酒+第三のビール) ■サブ・ミラーのみ4月-3月決算の数字。ほかは全て1月-12月の数字

順位	社名	主な所在地	2009年の 生産量 *	2010年の 生産量 *	2011年の 生産量 *
1位	アンホイザーブッシュ・インベブ AB InBev	ベルギー とアメリカ	3,645万KL	3,529万KL	3,528万KL
2位	サブ・ミラー SAB Miller	南アとアメリカ (本社所在地は英国)	2,130万KL	2,180万KL	2,290万KL
3位	ハイネケン Heineken	オランダ	1,252万KL	1,459万KL	1,646万KL 合併事業を含めると2,139万KL
4位	カールスバーグ Carlsberg	デンマーク	1,160万KL	1,142万KL	1,187万KL 合併事業を含めると1,398万KL
5位	青島ビール Tsingtao	中国	591万KL	635万KL	715万KL
6位	モルソン・クアーズ Molson Coors	カナダ とアメリカ	500万KL	487万KL	484万KL
7位	グルポ・モデロ Modelo	メキシコ	525万KL	527万KL	560万KL
8位	燕京ビール Beijing Yanjing	中国	467万K	503万KL	551万KL
9位	麒麟ビール ** Kirin	日本	225万KL	213万KL	203万KL
10位	アサヒビール ** Asahi	日本	224万KL	218万KL	212万KL
---	サッポロ ** Sapporo	日本	70万KL	70万KL	65万KL
---	サントリー ** Suntory	日本	73万KL	74万KL	74万KL

別の角度で見た世界のビールTOP10 @2009-2010-2011年

●中国1位の「雪花」(China Resources Snow Brewing、華潤とSAB MillerのJV)は積極買収で、2006年に青島ビールから1位の座を奪って以来独走状態。2011年の生産量が1,142万KL(資料によっては1,027万KL)で、これを単体と見なすと世界5位。「1,000万KL超クラブ」の一員。Plato Logicの統計では、SAB Miller出資比率の49%を、SAB Millerに割り振っているようだ。

●アメリカ市場でシェア2位の合併会社「ミラーコアーズ」の2011年の生産量は766万KLで、これを単体と見れば世界6位。統計上は、出資比率の58%:42%に応じて分割して、SAB Millerとモルソン・コアーズに割り振っているそう。

●上記2社をランキングに入れるとすれば、TOP10はこんな順位・生産量になる。(独自に計算したもので、必ずしも正当ではないかもしれませんが。)

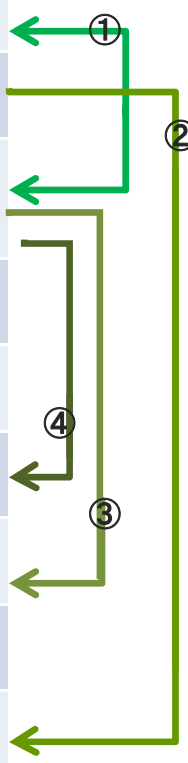
順位	社名	主な所在地	2009年の 生産量	2010年の 生産量	2011年の 生産量
1位	アンホイザーブッシュ・インベブ AB InBev	ベルギー とアメリカ	3,645万KL	3,529万KL	3,528万KL
2位	ハイネケン Heineken	オランダ	1,252万KL	1,459万KL	1,646万KL 合併事業を含めると2,139万KL
3位	「華潤雪花」と「ミラーコアーズ」をランキングに加えるため、サブ・ミラーから、華潤雪花とミラーコアーズを除いた量	南アとアメリカ (本社所在地は英国)	2,130万KL ▲SNOW49% ▲MillerCoors58% =推定約1,300万KL	2,180万KL ▲SNOW49% ▲MillerCoors58% =推定約1,300万KL	2,290万KL ▲SNOW49% ▲MillerCoors58% =推定約1,700万KL
4位	カールスバーグ Carlsberg	デンマーク	1,160万KL	1,142万KL	1,187万KL 合併事業を含めると1,398万KL
5位	華潤雪花 China Resources Snow	中国	840万KL	917万KL	1,142万KL
6位	ミラーコアーズ MillerCoors	アメリカ	万KL	788万KL	766万KL
7位	青島ビール Tsingtao	中国	591万KL	635万KL	715万KL
8位	グルボ・モデロ Modelo	メキシコ	525万KL	527万KL	560万KL
9位	燕京ビール Beijing Yanjing	中国	467万K	503万KL	551万KL
10位	麒麟ビール Kirin	日本	225万KL+海外分	213万KL+海外分	203万KL+海外分

●麒麟の海外分: オーストラリア2位のライオン(100%保有)、フィリピン1位のサンミゲルブルワリーの持ち株分48%、中国の麒麟啤酒(珠海)など。

●2011年に完全買収したブラジル2位のスキンカリオールも加わる。2012年からは海外分が400万KL以上?

世界のビールTOP10@2007年、2000年、1990年代 …再編ドミノ・合従連衡

順位	社名	主な所在地	2007年の生産量*	世界シェア
1位	サブ・ミラー SAB Miller	南アとアメリカ (本社所在地は英国)	2,317万KL	13.1%
2位	インベブ InBev	ベルギー	2,256万KL	12.8%
3位	ハイネケン Heineken	オランダ	1,640万KL	9.3%
4位	アンホイザーブッシュ Anheuser Busch	アメリカ	1,507万KL	8.5%
5位	カールスバーグ Carlsberg	デンマーク	1,200万KL	6.8%
6位	モルソン・クアーズ Molson Coors	カナダとアメリカ	584万KL	3.3%
7位	グルポ・モデロ Modelo	メキシコ	509万KL	2.9%
8位	青島ビール Tsingtao	中国	504万KL	2.9%
9位	燕京ビール Beijing Yanjing	中国	411万KL	2.3%
10位	FEMSA フォメント・エコノミコ・メヒカーノ	メキシコ	395万KL	2.2%



■2007年時点(左の表)では、キリン、アサヒは世界ベスト10になかった。(キリンが13位) また上位4社のシェアは44%だった。①AB InBevが誕生し、②ハイネケンがFEMSAのビール部門を買収した結果、青文字の6社が4社に統合され(会社数が減ったので)、2010年にキリン・アサヒが9・10位に繰り上がったという構図。世界市場における日本勢のシェアは低い。または、この10年で形成された上位4社と中国勢が強すぎる。(ただし、キリン、アサヒは飲料等を含めた売上総額では順位が上がる。)

■さらに以前、2000年時点ではキリンは世界10位で、上位4社(AB、ハイネケン、インターブリュー、AmBev)のシェアは29%だった。この時点では:SABとミラーは別会社、インターブリューとAmBevは別会社、モルソンとクアーズは別会社、左の表にはないが英国のスコティッシュ・ニューカッスルも大手だった。世界的規模追求のため行われたこの10年間のM&Aは、驚くべきスピードで進行、上位4社のシェアは29%→50%となった。「ドミノ倒し」のような合従連衡。現在進行形。

■さらにさらに以前、1990年代半ばにはキリンは世界5～6位で、このときのキリンと1位の販売量の差は3倍程度だったそうだが、2010年では10倍以上にまで開いた。

■なお、左の表の、③のABの青島ビールへの出資分はその後アサヒが買い取り。④のABのモデロへの出資は非支配株だったが、2012年6月29日に「AB InBevはグルポ・モデロを完全を買収することで合意」と発表。

* 順位と生産量は、英国のリサーチ会社Plato Logic Limitedによる推定。どこまでの傘下企業の生産量を含めているかはPlato Logicの基準による。

世界のビール市場@2010年：世界大手によるシェア奪い合い

消費量 順位*	国名	2010年の 消費量*	2010年の 生産量*	各国の主要ビールブランド
<p>中国は2003年にアメリカを抜いて世界一になって以降 独走状態。全世界のビール消費の1/4！！</p>				<p>1位華潤雪花 (SAB Miller49%)、2位青島(アサヒが20%、3位の株主)、3位燕京、4位AB InBev 以上のトップ4でシェア6割 (2011年はAB InBevが燕京を上回って3位) 5位以下: 5位河南金星、6位広州珠江、7位重慶、8位金威、9位サントリー・三得利、10位カールスバーグ・嘉士伯、11位アサヒ・朝日</p>
1位	中国	4,468万KL	4,483万KL	
2位	アメリカ	2,414万KL	2,282万KL	1位アンホイザーブッシュ(「バドワイザー」、AB InBev)がシェア5割弱、2位MillerCoors (SAB MillerとCoorsのJV、2008年から)がシェア3割
3位	ブラジル	1,217万KL	1,260万KL	1位AmBev(AB InBev)「スコール」ブランド、2位スキンカリオール(キリン)「ノヴァ・スキン」ブランド
4位	ロシア	939万KL	1,024万KL	1位Baltika (バルティカ、カールスバーグ系列)、2位Klinskoye (AB InBev系列)、3位セントラル・ヨーロッパ・ブルワリー (ハイネケン系列)
5位	ドイツ	879万KL	957万KL	独立系ブランドが残る国。Krombacher、Bitburgerなどが上位。一方、Beck'sはAB InBev系列、Holstenはカールスバーグ系列などビッグ4社傘下も。
6位	メキシコ	642万KL	799万KL	グルポ・モデロ(「コロナ」、AB InBev が非支配株50%を保有)、FEMSA(ハイネケン系)
7位	日本	581万KL	585万KL	キリン、アサヒ、サッポロ、サントリー+オリオン+地ビール+輸入ビール・発泡酒・第三
8位	英国	459万KL	450万KL	1位「Stella Artois」はAB InBev、2位「Foster」はいまやハイネケンUK(2009年までS&Nだったが)など。カールスバーグUKも4位。大手4社で圧倒的シェア。そのほか、「Carling」のモルソンCoors、「ギネス」のディアジオが強い。
⋮	⋮	⋮	⋮	
14位	カナダ	231万KL	222万KL	Labatt(AB InBev系列)がトップ、モルソン(モルソンCoors)が2位
17位	韓国	202万KL	182万KL	大手は2社 Hite-Jinro(独立系、2010年ジンロを統合して社名変更)がトップ、OB(1998年インターブルー(現AB InBev)が買収したが、2009年に(一時、アサヒ・ロッテ連合も名乗りを上げたが)アメリカのファンド会社コールバーグ・クラビス・ロバーツに18億ドルで売却)が2位
18位	フランス	197万KL	N.A.	クローネンブルグ(カールスバーグ系)がシェア3割強、ハイネケン・フランスがシェア3割弱
21位	オーストラリア	179万KL	174万KL	1位フォスター(不振だったペンフォールズなどのワイン部門の分割を決めた一重荷がなくなった一直接後、2011年にSAB Miller が取得)がシェア過半、2位ライオン(キリン)

* 順位、消費量、生産量はキリン食生活文化研究所による

世界のビール産業の合従連衡を見て思う事・・・

■ケーススタディー1: 自動車産業の事例 <10社ほどの日本メーカーが国際競争の中で生き残っている。日産はルノー(外資)傘下であるほか、三菱、スズキ、いすゞ、日野なども外資が入っている、または外資経験をへて、がだ。>

■ケーススタディー2: 液晶パネルの事例 <世界的に優勢を誇った日本勢は、国際価格競争でいまや敗退気味>

■ケーススタディー3: ハーレーデイヴィッドソンと日本のバイク、スイス時計とセイコーの事例 <一度日本勢力に敗退しかけた外国勢が、どっこい、ニッチやレトロやプレミアムで勝ち残る、または売上逆転>

■ケーススタディー4: フィリピンのサンミゲルの事例 <サンミゲルビールは国内90%近いシェア。ビール株の48%をキリンに売却したキャッシュを脱ビール戦略に使い、石油分野や電力分野など、まったく異なる分野に進出して成功を収めている>

■ケーススタディー5: アメリカにおけるミラークアーズの事例 <アメリカ2位と3位が2007年に企業統合、1位に対抗する。>

* 以下、wikipediaから: MillerCoors is a joint venture between SABMiller and Molson Coors Brewing Company, announced on October 9, 2007. The joint venture has the responsibility of selling brands such as Miller Lite, Miller High Life, Miller Genuine Draft, Coors, Coors Light, Molson Canadian, and Blue Moon (beer) in the United States, with the purpose of combining all of their US brewing operations to better compete against Anheuser-Busch InBev. The company is also tasked with brewing brands of beer and lager that are owned by Pabst Brewing Company.

* 連想: 「2012年6月5日、サントリーは中国ビール2位の青島ビールと提携すると発表。上海・江蘇省の両社のビール事業を統合する。年内にも生産、販売を手がける合併会社を折半出資で設立、生産会社には両社の10工場を、販売会社には4社を移管する。青島ビールにはアサヒが約2割を出資して第3位株主となっているので、サントリーが提携を広げることはアサヒの対応も焦点となってくる。サントリーは1981年、日本勢では最も早く中国に参入。上海と、上海に隣接する江蘇省のみでビール事業を展開。一大消費地である上海では、中・低価格商品で2000年代初めに5割前後のシェアを握ったが、近年は中国1位の華潤雪花の低価格攻勢に押されシェア3割程度。上海3位の青島ビールと組んで首位の基盤を固める。江蘇省では華潤雪花がトップで、サントリーと青島ビールが2位グループ。今回の統合で江蘇省でも首位となる。サントリーの2011年の中国の販売量はシェア1.6%、9位にとどまる。独力での中国市場開拓は限界があると見て自前主義から地場大手説と組んだ戦略に切り替える。青島ビールは2011年の販売量が715万KL、シェア14.3%で中国2位。かつてはトップだったが、近年は華潤雪花(シェア21.6%)に水をあけられている。」(日経新聞2012年6月5日から抜粋)

■ケーススタディー6: モエヘネシー・ディアジオの事例 <モエヘネシー・ルイヴィトン(高級ブランドを販売するフランス企業)の酒類部門とディアジオ(ジョニーウォーカー、J&B、スミノフなどをもつ世界的酒類企業)が合併会社を設立して、日本をふくむ各国でお酒を販売。シャンパン・コニャックとウイスキーという競合しない持ち札であること、一方でプレミアムレンジで販売する商品であることが共通>

世界のビール産業の動向(おまけ): 利益率の高いクラフトビールを傘下に

豪ビール、完全子会社に

キリンHD 200億円追加出資

キリンホールディングス(HD)は18日、オーストラリア州のビール会社、リトル・ワールド・

らの方針で、追加取得の金額は2億5000万豪ドル(約200億円)。
ライオンはLWB株を約36%握る筆頭株主。LWBはオーストラリア証券取引所に上場しており、ライオンは10月にもLWB株のTOBを完了

2012.6.19 日経新聞

以上(2012.07.01/tk)

する予定。TOB価格は業の地ビールメーカー5・3豪ドルで、直近の株価に約4割のプレミアムを付けた。キリンはLWBの完全子会社化により品ぞろえを拡充し、同国のビール事業を強化する。
LWBは2000年創設。この数年は人気が高まっているという。

ビール世界大手アンハイザー・ブッシュ・インベブ(ABインベブ)の米国事業アンハイザー・ブッシュ



ABインベブ

米地ビールを買収

は、米地ビール醸造のフルトン・ストリート・ブリュワリーを総額3880万ドル(約32億6300万円)で買収する。「バドワイザー」などの有力ブランドを持つABインベブは資金力と販売網を生かして高収益の地ビール事業も強化する。

32億円を投資

630万ドルで取得する。地ビールは生産量が少なく販売地域が限られるが、「バドワイザー」などの量販ブランドと比べて価格が高く、利益率も良い。ABインベブは買収手続きが完了を受け、シカゴの地ビール醸造所の生産強化に130万ドルを投じる計画。(ニューヨーク)

西郷絃子

2011.4.? 日経新聞